



2020年3月4日 No.7
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2020年春闘・月間推進ニュース

2020年春闘要求提出160組織 37.7% 首都圏集交団は全社から有額回答引き出す

2020年春闘のとりくみは、3月4日現在、要求提出が160組織37.7%となり、データベースに反映されていない組織は20県本部となっています。コロナウィルス対策の影響も否定できませんが、全体的には不十分な到達状況です。

一方で運輸首都圏集交団は全11社から有額回答を引き出し、2回目の団交では24時間スト実施の通告をおこない、11日に次回団交に臨みます。そのほかにも18歳最賃を確認し、個別要求交渉では、「退職金の上積み、年休増、65歳定年」などの要求を獲得しています。(別紙参照)

各組織での実践なしに要求実現は勝ち取れません。未報告県本部は、早急に支部・分会を通じて職場の状況をつかむようにしましょう。またデータベースによる春闘要求提出・回答状況と組織実数の掌握のための入力を徹底しましょう。

次世代育成連続学習会を2/9開催 大阪府本部・学習教育活動

大阪府本部は次世代幹部役員を育成するため、2月9日(日)国労大阪会館で、学習会を開催しました。第2回目となる学習会は、大阪府本部・荻田書記長の司会進行で始まり、「賃金・労働時間・働き方を考える」をテーマに妹尾知則・関西勤労協講師をお招きして2つの項目に分けて約75分間学習。

1項目は、『賃金は労働力の価格』を学習の主題とし「賃金は労働に対する支払いではなく、労働力という商品価格。したがって、賃金は会社の支払い能力では決まらない。」の説明。2項目は、『人間らしく働き、人間らしく生きるために』を柱に京都総評が行った生活実態調査をもとに説明、重要なのは「賃金水準と標準的な生活水準、全体の賃金水準を上げていくことが決定的に重要である。賃金を個人的な問題にしてしまう成果主義賃金ではダメ。成果や能力の評価は会社の恣意的なものにならざるを得ない。したがって、標準的な生活水準から賃金水準をとらえる。」ことを学びました。参加者は、大阪合同支部4名、此花支部2名、関西ダンプ支部2名、関西支部2名が参加しました。



2020年賃上げ回答状況（県別） 2020年3月4日現在

地本名	交渉単位数	要求提出数	要求提出率 (%)	要求額 (円)	回答数	回答額 (円)	月給			
							前年比 (円)	妥結数	妥結額 (円)	前年比 (円)
JR	8	7	87.5	36,000	0			0		
北海道	19	0	0.0		0			0		
青森	4	0	0.0		0			0		
岩手	3	1	33.3	20,000	0			0		
宮城	1	0	0.0		0			0		
秋田	3	0	0.0		0			0		
山形	1	0	0.0		0			0		
福島	2	0	0.0		0			0		
茨城	3	0	0.0		0			0		
栃木	5	0	0.0		0			0		
群馬	4	0	0.0		0			0		
埼玉	17	0	0.0		0			0		
千葉	1	0	0.0		0			0		
東京	30	14	46.7	23,214	2	1,409	473	0		
神奈川	17	8	47.1	44,250	0			0		
新潟	4	0	0.0		0			0		
富山	2	0	0.0		0			0		
石川	0	0			0			0		
福井	0	0			0			0		
山梨	1	0	0.0		0			0		
長野	1	0	0.0		0			0		
岐阜	7	4	57.1	13,250	0			0		
静岡	13	6	46.2	43,800	0			0		
愛知	69	12	17.4	34,091	2	2,200	-1,546	1	2,000	-1,878
三重	4	4	100.0	21,250	1	1,000	0	1	1,000	0
滋賀	7	5	71.4	25,000	0			0		
京都	35	18	51.4	30,722	2	330	-794	0		
大阪	48	18	37.5	36,067	0			0		
兵庫	57	41	71.9	38,771	1	1,300	-378	0		
奈良	0	0			0			0		
和歌山	13	0	0.0		0			0		
鳥取	2	1	50.0	50,000	0			0		
島根	0	0			0			0		
岡山	0	0			0			0		
広島	5	5	100.0	36,200	0			0		
山口	0	0			0			0		
徳島	6	6	100.0	31,167	0			0		
香川	0	0			0			0		
愛媛	0	0			0			0		
高知	1	0	0.0		0			0		
福岡	12	9	75.0	24,478	0			0		
佐賀	2	1	50.0	15,000	0			0		
長崎	1	0	0.0		0			0		
熊本	7	0	0.0		0			0		
大分	4	0	0.0		0			0		
宮崎	0	0			0			0		
鹿児島	1	0	0.0		0			0		
沖縄	4	0	0.0		0			0		
全国平均	424	160	37.7	33,548	8	1,272	-1,161	2	1,500	-1,240

☆まもろう憲法と暮らし 実現しよう！ 大幅賃上げと雇用の安定を目指し、団結ガンバロウ!! ☆

2020年 春闘 建交労
首都圏運輸基本集団交渉

通刊第194号

集交ニュース No.2

‘20年 春闘
すべての労働者の賃上げと待遇改善を！

2020年3月4日(水)

建交労
首都圏運輸
基本集団交渉団

江東区門前仲町
1-20-3 東京建設自労
会館 7階

Tel 03-3820-8644
Fax 03-3820-8646

第2回集交開催!! 全社から有額回答を引き出す!!

日生が前年突破!! 中通・豊島・ふじ・教宣・ワカバ・堀切の6社が 前年同率・同額！ 神田が退職金勤続15～24年の基礎額上積み!!

次回最終交渉、解決めざして24時間ストライキを通告し終了!!

第2回集団交渉を3月4日(水)東京貨物健保会館で開催しました。組合側の打ち合わせでは、第1回交渉以降の政治・春闘情勢等を確認し、今回交渉の重点課題として、有額回答指定日のため、全社から有額回答を引出し、制度要求は、今春闘のポイントである定年制度、退職金制度を中心に前進回答を求めることを意思統一しました。

第1回全体交渉では全11社から有額回答を引出し、日生が前年突破、中通・豊島・ふじ・教宣・ワカバ・堀切の6社が前年同額・同率の回答を提示しました。また、制度要求では、神田が退職金制度で勤続15～24年の基礎額を500円上積みとの前進回答を引き出しました。その後、更なる上積み求めて個別交渉に入りました。

個別交渉後の全体交渉では、修正回答はなく各交渉員からは次回交渉での回答を期待するとの発言がありました。組合側は個別交渉を含む2回の全体交渉を踏まえ、全社有額回答が示されたことを評価し、明日の実力行使を15時20分に解除しました。

最後に次回最終交渉で解決できる賃上げと制度要求全般への修正回答を求め、24時間全面ストライキを通告し、終了しました。

争議通告について

今回は、賃上げ最終交渉となります。解決を目指し実力行使を配置します。

<日時>
2020年3月12日(木)0時より

<内容>
24時間 全面ストライキ

<規模>
全組合員

‘20年春闘 第2回目各社回答一覧 2020年3月4日 15:20 現在

支部・分会	トラック最賃	オリパラ	昨年実績	1回目賃金回答額	2回目までの前進回答状況
神田	○	○	2,202	1,618	18歳最賃、退職金勤続15～24年基礎額500円アップ
中央通運	○	○	1,773	※1,788	18歳最賃
豊島運送	○	○	1,644	※1,600	18歳最賃、年間休日126日
京橋運送	○	○	1,300	1,000	18歳最賃
ふじ	外	○	1,910	1,910	18歳最賃
日生流通	○	○	1,251	2,060	18歳最賃
浅井	保留	○	1,400	1,100	18歳最賃
教宣文化	○	○	1,883	※1,703	18歳最賃
ワカバ運輸	○	○	1,200	1,200	18歳最賃
堀切運輸	○	○	1,300	1,300	18歳最賃、65歳定年制協議中
中央運輸	○	○	1,708	1,207	18歳最賃

網掛けは前年実績突破 ※額面上昨年以上、または以下でも率で前年同額

今後の日程

3月11日(水) 第3回集団交渉
(20春闘最終交渉日)

4月3日(金) 全国トラック部会
統一行動

4月12日(日)～13日(月)
集交春闘総括会議

6月3日(水) 第1回一時金集交
(夏季一時金回答指定日)

6月10日(水) 第2回一時金集交
(夏季一時金最終交渉日)